

第3回平成28年度 秋田県立大学 部局間研究交流フォーラム

— 本学の特色を生かした共同研究をめざして —

本学が進める重点プロジェクト研究ならびに各部局での研究を知って頂くと同時に、新たな共同研究の可能性を探るキッカケにして頂きたいと思っております。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

2016. **9.2** [金] 13:00~17:30
(受付開始12:30~)
カレッジプラザ講堂 秋田市中通2丁目1-51



プログラム

13:00~13:05 開会挨拶 研究・地域貢献本部長 小嶋郁夫
13:05~13:25 学長講話「大学での研究」学長 小間 篤

最終年度の重点プロジェクト研究紹介

13:30~14:00 建築環境システム学科 教授 長谷川兼一
14:05~14:35 応用生物科学科 教授 岡野桂樹

各部局研究紹介

14:40~15:10 電子情報システム学科 教授 飯田一朗
15:15~15:45 生物生産科学科 教授 藤 晋一
15:55~16:25 総合科学教育研究センター 准教授 加賀谷真澄
16:30~17:00 木材高度加工研究所 教授 佐々木貴信

17:05~17:30 平成29年度からの科研費の変更について 特任教授 濱田文男

閉会挨拶 生物資源科学部長 吉澤結子



Akita Prefectural University

公立大学法人

秋田県立大学 地域連携・研究推進センター

研 究 概 要 紹 介

建築環境システム学科 教授 長谷川兼一

「健康リスク評価の観点から見た室内真菌のDNA解析による濃度定量法の開発」

室内のダンプネス(湿度が高い状態)が、子供の呼吸器疾患等を誘発するといわれますが、その室内環境はよくわかりません。本研究は、ダンプネスと関連深い微生物汚染等との関係を明らかにすることを目指しています。

応用生物科学科 教授 岡野桂樹

「次世代シーケンサーとバイオインフォマティクスを用いた遺伝資源の網羅的探索」

膨大な量のDNA配列を一気に取得する次世代シーケンサーと、得られるビッグデータを解析するバイオインフォマティクスの劇的な発展は、21世紀の生物学を大きく変えつつあります。我々の取り組みを紹介します。

電子情報システム学科 教授 飯田一朗

「人の活動を起点にしたコピキタス情報ネットワークの研究」

人々の日々の生活に寄り添いながら、必要な機能や情報をタイムリーに提供するコピキタス情報ネットワークに関する最新技術動向を紹介するとともに、本技術を活用した異分野協調や本部連携の可能性について言及します。

生物生産科学科 教授 藤 晋一

「ゲノム解析技術を活用したイネばか苗病防除に向けた取り組み」

イネばか苗病は、東北地域の減農薬・無農薬栽培農家を中心に発生が増加しており、健全種子の生産に影響を及ぼしています。ばか苗病の発生を終息させるため、病原菌の遺伝DNA鑑定技術を開発しました。開発した技術を利用して発生生態を調査したところ、ばか苗病を終息させるために必要なことが明らかとなりましたので、それについて紹介します。

総合科学教育研究センター 准教授 加賀谷真澄

「米国における苦学生の実態的研究－明治期から大正期にかけて－」

明治から大正時代にかけて、大きな夢を抱いてアメリカへ渡った日本人留学生についての研究です。ほかに、彼らの奮闘をどのように思うかというアンケート調査を学生に実施しており、その結果についても考察します。

木材高度加工研究所 教授 佐々木貴信

「農業土木分野での木材利用の取り組み～フィールド教育研究センターを活用した軟弱地盤補強工法の実証試験～」

木杭を地盤に打ち込んで地盤を補強する方法は古くから知られています。この伝統的な技術を見直し、木材の新たな利用方法へと発展させるために、国内有数の粘性土軟弱地盤地域にあるフィールド教育研究センターにおいて実証試験を行いました。

参加ご希望の方は、次にご記入のうえ、8月29日(月)までにFAXまたはメールでお申込みください。

参加申込先 問い合わせ先	公立大学法人秋田県立大学／地域連携・研究推進センター 電話 018-872-1557 ファクス 018-872-1673 メール stic@akita-pu.ac.jp			
団体(企業)名等				
連絡先	電話	- -	ファクス	- -
参加者氏名	所属部署・役職名	通 信 欄		

※記入された個人情報は、本フォーラムに関することのみ利用し、それ以外の目的には使用しません。